

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・集めたデータから四分位数や四分位範囲を求める。
- ・四分位数や四分位範囲から箱ひげ図を作成する。
- ・四分位数の値や箱ひげ図の形から、データの散らばり具合やデータの傾向を読み取る。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・自分が集めたいデータの内容に合わせて必要な図書を選ぶ。
- ・分析してわかったことと図書の内容と関連付けて資料にまとめる。

本単元で育む主な情報活用能力

A～E－STEP1, F・G－STEP2
J・K－STEP3, R－STEP4

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開（全 12 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (5 時間)	1.データの散らばりについて考えよう 3.四分位数や最大値・最小値から箱ひげ図を描こう 5.複数の箱ひげ図からデータの傾向を調査しよう	2.四分位数から四分位範囲を求めよう 4.箱ひげ図の性質を理解し、データの散らばり具合を考えよう。
第 2 次 (2 時間)	6.Excel で箱ひげ図を作ろう 7.Canva を使ってみよう	
第 3 次 (5 時間)	8.レポート作成のテーマを考えよう (☆) 10.Excel を利用して箱ひげ図を作ろう (☆) 12.レポート作成をふまえて振り返ろう (☆)	9.テーマに合わせて資料を見つけよう (☆) (本時) 11.Canva に箱ひげ図を貼り付けてレポートを作ろう (☆)

本時のねらい

調べたい内容に合わせて図書からデータを探し、レポートにまとめることができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5 分)	1. レポート作成について知る。 レポート作成手順を聞き、今回の活動の見通しを持つ。 ①レポートのテーマを考える。 ②テーマに合った図書資料を探す。 ・テーマに合わせて、Excel に入力するためのデータを図書から探す。 ③資料を Excel に入力し、表から箱ひげ図を作成する。 ④ 5 つの項目について、Canva でレポートを作成する。 ・テーマを選んだ理由 ・調べた方法 ・箱ひげ図 ・データ分析結果 ・結果を踏まえた感想とレポート作成の振り返り ⑤ミライシードオクリンク・OneNote にそれぞれ提出する。	・レポートの例を示し、レポート作成の過程をイメージしやすくする。 ・オクリンクで他の生徒が提出したレポートを見ることができるようにしておく。
展開 (35 分)	2. レポート作成作業を行う。 (テーマの例) ・プロ野球セパ交流戦におけるセリーグとパリーグのどちらが勝率が高いか ・犬種による飼いやすさの違い ・世界の人口密度は地域によって違いがあるのか	・箱ひげ図作成にあたって、ランキングなど一部のデータのみ載っているものではなく、すべてのデータが載っているものを探すように声をかける。箱ひげ図の横軸と縦軸をどのように設定すれば作成しやすくなるかを考えるように促す。
まとめ (10 分)	3. 本時の取り組みを振り返る Forms で進捗状況を振り返り、レポート作成で困っていることやわからないことを考える。	・Forms で進捗状況を把握し、困っていることやわからないことは次時での机間指導の際に声をかける。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

データの活用において、代表値の意義や求め方、データの読み取り方の学習を行うが、実際に自分でデータを収集し、分析したものをレポートなどの形にする力はこれから社会に出ていく生徒たちにはより求められると考える。本校の生徒は総合的な学習の時間でパワーポイントを活用して、スライドを作成することは多いが、Canva を活用したレポートの作成は初めての取り組みとなる。レポート作成にあたって、作成方法の指導や作成のサポートは適宜行うが、どのようなレポートが完成するかは生徒一人ひとり異なるため、生徒たちの個性も育むことができた。自分たちがもった疑問に合わせて図書資料を探す様子が見られた。また箱ひげ図を作成するにあたり、見つけたデータをどのような形で表にするかを真剣に考察する様子が多く見られた。



図書館で資料を探す様子